

小田原市防災マップ



防災マップの使い方

- まずは、防災マップで**自宅**を探して印をつけましょう。
- つぎに、自宅が**浸水**の範囲内にあるか、浸水の深さはどの程度なのか、海拔はどれくらいなのかを確認しましょう。
- 浸水の深さ、深さの目安は凡例で確認できます。
- 自宅に一番近い**避難所**や**高台**等をマップで確認しましょう。
- 家族で決めた避難所を確認し、**避難経路**を記入しましょう。
- 確認した情報を活用して、避難所までの安全で最短な避難路を実際に**歩いて確認**しましょう。

小田原市

市長のことば

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方の沿岸部を中心に、津波による甚大な被害が発生しました。また、平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、地震動により、やはり甚大な被害が及ぼされました。このような過去の災害の教訓は、今後に活かすことが非常に大切です。

自然災害の発生を防ぐことは困難ですが、一人ひとりの日頃からの準備と心掛けにより、その被害を減らすことは可能です。その切迫性が高まっていると言われている神奈川県西部地震など、災害はいつ発生するかわかりません。自分を守るのには、「自分自身」です。

地震発生時に安全に避難するためには、日頃から避難経路上の危険要因を確認し、防災マップに書き込むとともに、家族で連絡方法や行動を話し合うようにしてください。

小田原市長 加藤憲一

非常持出品

非常持出品は家族構成などを考えて準備しましょう。乳幼児やお年寄りがいるなどで、特に必要なものがあればつけ加えておきましょう。保存状態や使用期限などを定期的に点検して、必要に応じて新しいものに交換しましょう。

一次持出品

一次持出品は避難するとき、まず最初に持ち出すべきものです。**男性で15kg、女性で10kg**程度が目安ですが、各自持てる重さを確認しておきましょう。



二次持出品

災害復旧までの数日間を自活できるように、最低でも**3日分**を用意しておきましょう。



平成 25 年発行

小田原市防災部防災対策課 (小田原市狹達 300 番地)
電話 (0465) 33-1855 FAX (0465) 33-1858

災害が起きたら！

災害が発生し、又は発生する恐れがある場合には、市長が避難勧告、避難指示を発令します。しかし、避難勧告などが発令されなくても、自ら危険が迫っていると判断される場合には、自主的に避難をしましょう。通勤、通学等で家族が離れはれなくなった場合のために、家族との連絡方法や待ち合わせ場所を家族防災会議で決めておきましょう。また、家族の一時避難場所、広域避難所を確認しておきましょう。避難所では大勢の方々と共同生活をし、場合によっては避難所での生活が長引くこともありますので、共同生活のルールを守り、お互い助け合って生活するよう心掛けましょう。

避難場所の種類

避難は、一時避難場所、広域避難所の順に行います。

一時避難場所	長期的な避難生活を伴わない場所で、あらかじめ自主防災組織（自治会）ごとに定めています。
広域避難所	市内の小学校（25校）を広域避難所として指定しており、多数の負傷者が出た場合には、仮設救護所も開設されます。
津波一時避難施設	津波を伴う地震が発生した場合には、津波から一時的に避難するための施設です。市と協定を結んだ民間施設（津波避難ビル）のほか、公共施設を指定しています。

小田原市地理情報システム (Navi-O)

<http://www2.wagamachi-guide.com/navi-odawara/top/index.asp>

避難に関する情報は3種類

避難に関する情報は、災害状況の深刻度に応じて発令され、防災行政無線等でお知らせします。

避難情報の種類	市民がとるべき行動
避難準備情報（要援護者避難） 人的被害の発生する可能性が高まった状況	○避難に時間がかかる高齢者等の方は決められた避難場所へ避難してください。 ○その他の方は、家族との連絡、非常持出品の用意等の避難準備を始めてください。
避難勧告 人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	○すべての住民の方は決められた避難場所へ避難してください。
避難指示 人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状況	○避難中の方は、直ちに避難を完了し、まだ避難していない方は直ちに避難してください。 ○津波や水害の場合、余裕がなければ、自宅や隣接建物の上層階等へ緊急的に避難してください。

市の防災行政無線放送（地震関係）

災害がおきる恐れのある地震が発生した場合、市の防災行政無線で注意を呼びかけます。

〔放送文〕こちらは、防災小田原です。「震度〇〇の地震が発生しました。火の始末をして下さい。テレビ・ラジオをつけ、落ち着いて行動して下さい。」こちらは、防災小田原です。(3回繰り返す) ※〇〇は発生した地震の震度数値です。



地震から身を守るには

家族防災会議を開きましょう



地震が起きた時の心得

- まずは身の安全を確保**
大きな揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠します。座布団などが身近にあれば、頭を保護しましょう。
- 2 すぐ火の始末**
すばやくガス器具やストーブなどの火を消しましょう。ガスは元栓を締め、電気はブレーカーを落としましょう。
- 3 脱出口の確保**
揺れて、ドア枠が変形し、開かなくなってしまうことがあります。玄関や部屋のドア、窓などを開け、いつでも逃げられるようにしておきましょう。
- 4 外へ逃げるときはあわてず**
外ではガラスや瓦、看板などが落ちてくる可能性があります。あわてず状況を判断しましょう。（壁面にはスリッパなどを用意しておきましょう。）
- 5 正しい情報入手**
ラジオやテレビ報道などで正しい情報入手しましょう。市の防災行政無線やおたわら（78.7MHz）、小田原ケーブルテレビなどの災害情報に注意を払いましょう。
- 6 冷静に避難**
揺れが収まっても、延焼や建物倒壊の危険性を感じたときには、冷静に判断して避難しましょう。車は使わず徒歩で避難するようにしましょう。

小田原市の活断層

「活断層」とは、最近数十万年間に、約千年から数万年の間隔で繰り返し活動してきた跡が地形に明瞭に表れており、今後も活動を繰り返すと考えられるものをいいます。このうち、風雨による侵食や堆積、また開発の影響などで活断層の位置を明確に表示できない区間は破綻で、活動の跡が土砂の下に埋もれてしまった区間は、点線で示しています。小田原市内には、国府津－松田断層が確認されています。平成21年地質調査研究推進本部地質調査委員会の発表によると、この断層の活動の平均間隔は約800～1300年と推定され、最新の活動時期は12世紀以後、14世紀前半以前(西暦1350年以前)と考えられます。

〔出典〕〇国土地理院ホームページ「都市圏活断層」について
〇H21.3 地質調査研究推進本部



地域で災害に備えよう

自主防災組織とは

大地震や風水害等の災害が発生した場合、被害を少なくする上で大切なのは、地域における自主防災組織の活動です。自主防災組織とは、小田原市においては自治会単位で構成されており、地域住民が自主的に連携して防災活動を行う組織です。市民の皆さんは地域の自主防災組織に加入し、積極的にその活動に参加しましょう。

自主防災組織の活動



■倒れている人がいたら～AEDによる蘇生法～

意識を失っても、すばやく的確な手当をおこなえば、命の助かる確率が高くなります。消防署に119番通報し救命車を待つ間におこなう「心肺蘇生法」がきわめて重要です。心停止の被害者の救命のために、電気ショックによる蘇生法が大変有効な応急手当です。AED（自動体外式除動器）は被害者の心臓のリズム等を自動的に調べ、必要な手順を音声メッセージで指示してくれる機器です。AEDが近くにあたら有効に活用しましょう。

AED（自動体外式除動器）の実施

- （誰でも使えるAED）
- ①電源を入れる。
- ②パッドを貼る位置を確認し、装着する。
- ③音声メッセージ（指示）に従う。

※AEDの設置場所は次のURLから確認できます。

<http://www2.wagamachi-guide.com/navi-odawara/top/select.asp?dtp=4>

津波から身を守るには

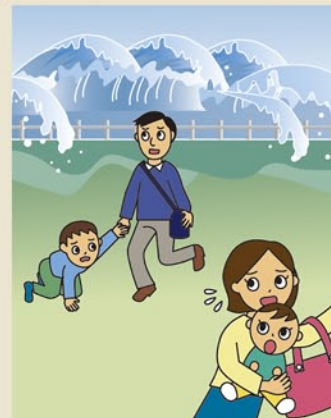
津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

津波予報の種別	予想される津波の高さ 数値の発表 巨大地震の場合	とるべき行動	想定される被害
大津波警報	10m超 10m 5m	巨大	沿岸部や内陸にいたる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。ここから安全と思われる、より高い場所を目指して避難しましょう。
津波警報	3m	高い	海の中にいる人は、ただちに海から上らって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に近づかず、波が打ち寄せたまま待たないでください。
津波注意報	1m	表記しない	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。浅い海では波が打ち寄せ、波が打ち寄せたまま待たないでください。

※震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報が解除後も海面変動が継続する場合には、「津波警報（若干の海面変動）」を発表します。

津波の危険に対する心得

- ◆海岸近くで地震を感じたら直ちに避難
強い地震（震度4程度以上）や、長い時間の揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。
- ◆揺れが小さくても油断しない
感じた揺れ（震度）と地震の規模（マグニチュード）は別です。小さな揺れでも大きな津波になることもあるので、決して油断してはいけません。
- ◆津波は繰り返し襲ってきます
第1波よりも第2波、第3波の方が高くなる場合があります。荷物をとり戻った後、様子を見るために海岸へ近寄ってはいけません。
- ◆津波のスピードは
津波の伝わる速さは時速数百kmにもなる場合があり、津波が見えてからでは逃げきれません。
- ◆正しい情報で冷静な行動を
テレビやラジオ、防災無線などで正しい情報入手し、冷静な行動をとりましょう。



地震被害の軽減対策

大地震や豪雨などの自然現象は、人間の力でくじめることはできませんが、災害による被害は、市民の一人ひとりの日頃の努力によって減らすことは可能です。災害が起きてからでは間に合いません。日頃から「自分自身でできること」、「近所と力を合わせてできること」などについて考え、少しでも災害による被害を軽減できるよう、皆さんの力を合わせて災害に備えましょう。

小田原市周辺の危険性を知りましょう

小田原市は、過去に地震、台風、洪水や火山の噴火などにより大きな被害を受けています。地域の危険性を知ることは災害への理解を深めるためにも有効なことです。各機関のホームページを調べて、小田原市周辺の危険性を確認しましょう。

神奈川県地震被害想定	e-かなマップ（地震被害想定調査など）
http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f15151/p15579.html	http://www2.wagamachi-guide.com/pref/kanagawa/
神奈川県の活断層	神奈川県津波浸水予測図
http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f15152/	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f360944/

災害時の情報入手方法

小田原市では防災行政無線を始め、複数の手段を用いて、市民の皆様へ情報発信を行っています。災害時は「自分の身は自分で守る」ことが大切です。市民の皆様も、複数の手段を活用し、情報を入手していただきますようお願いいたします。



全国瞬時警報システム J-ALERT

市では、国が発信する緊急地震速報などの緊急情報を、防災行政無線を使って自動で放送する、全国瞬時警報システムJ-ALERT（ジェイ・アラート）を運用しています。放送される緊急情報にご注意ください。放送内容は、市ホームページで確認できます。

テレビ放送

小田原ケーブルテレビ・テレビ神奈川のデータ放送で地域の災害情報が流れます。



広報車

緊急時は、広報車で市内を巡回放送します。

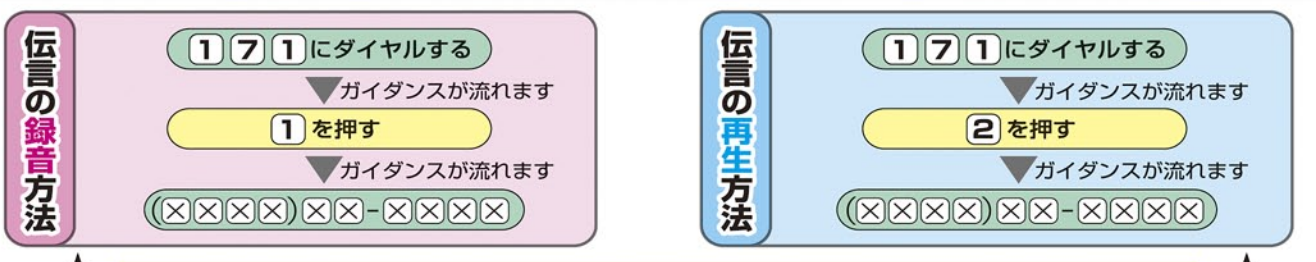


東日本大震災のような緊急時には防災行政無線で放送した情報を発信します。

小田原市政情報 @Odawara City

災害用伝言ダイヤル「171」

災害用伝言ダイヤル「171」とは、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供される声の伝言板です。



※録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTTで決定し、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

NTT東日本 災害用伝言ダイヤル <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>
【災害用伝言ダイヤル「171」】体験利用提供日
・毎月1日及び15日 0:00～24:00
・正月3日分（1月1日 0:00～1月3日 24:00）
・防災週間（8月30日 9:00～9月5日 17:00）
・防災とボランティア週間（1月15日 9:00～1月21日 17:00）

津波一時避難施設一覧

名 称	住 所	名 称	住 所
片浦小学校	根府川534	芦子小学校	扇町1-37-7
旧片浦中学校	根府川41	グリーンパーク小田原A	扇町2-12-1
早川小学校	早川2-14-1	足柄小学校	扇町3-21-7
シーサイドハイテツ早川	早川11-3-10	白山中学校	扇町5-7-17
小田原水産合同庁舎	早川11-2-1	アール・バウンス扇町	扇町5-8-6
大窪小学校	板橋985	酒匂川流域下水道管理センター	西酒匂1-1-54
城南中学校	板橋875-1	リバーサイド酒匂	西酒匂2-9-2
サンパティス小田原	水ヶ江143-1	タイアビルス西酒南第2	酒匂1-25-40
アネックス南町	南町1-5-19	レイモンドハウロッド	酒匂2-2-38
南町分署	南町1-9-36	生きがいふれあいセンターいそしぎ	酒匂2-32-15
市民会館	本町1-5-12	保健センター	酒匂2-32-16
三の丸小学校	本町1-12-49	酒匂小学校	酒匂3-4-1
納税センター・青色会館	本町2-3-24	はなとこ小田原2号館	酒匂3-9-12
D Kビル	本町2-13-20	酒匂小学校	酒匂5-15-3
ラティエンス小田原本町	本町4-2-45	下府中学校	酒匂930
小田原フスカ	米町1-1-9	介護老人保健施設わがや	小八幡3-6-22
ジャンボナックビル	米町1-4-48	国府津小学校	国府津2-485
八百一ビル	米町3-16-3	国府津中学校	国府津2372
ベルドミール小田原	米町4-9-16	神奈川県立西湘高等学校	酒匂1-3-1
スポーツプラザ神奈中小田原	米町4-12-12	ヴィラ レアール	南鶴宮2-13-4
アエリア小田原浜町	浜町1-5-35	フレステート長田	南鶴宮2-15-2
新玉小学校	浜町2-1-20	ペリアム鶴宮	南鶴宮2-27-6
リーガル小田原	浜町3-11-41	富士見小学校	南鶴宮3-25-1
社会福祉法人山王保育園	小田原1-30-30	南鶴宮ハイツ	南鶴宮3-26-1
山王小学校	東町2-9-1	セルージュ南鶴宮コートブリーズ	南鶴宮3-38-13
神奈川県立小田原総合ビジネス高等学校	東町4-12-1	鶴宮中学校	鶴宮547
白鶴小学校	東町4-13-1	川東タウンセンターマロニエ	中鶴273-6
ヒメカノ小田原東立立体駐車場	東町5-11-12	ダイナミックウェスト立立体駐車場	中鶴208
城山小学校	城山3-4-1	矢作小学校	矢作272
ユササ中町住宅A	中町2-12-12	フレンド小田原ファミリーモール南鶴宮立立体駐車場	前川1120
ユササ中町住宅B	中町2-12-13	小田原コロナワールド立立体駐車場	前川1219-4
野田小学校	寿町2-7-25	ダイヤモンドドライブ湘南立立体駐車場	前川1474-1
ボレスト小田原	扇町1-10-5	前羽小学校	前川1858
扇町ライオンビル	扇町1-25-1	橘タウンセンターこゆるぎ	羽根281-3
更生保護施設報徳更生寮	扇町1-46-25	橘小学校	羽根410

※この他に、地域住民限定の津波一時避難施設が4箇所あります。